

魚津市中期財政計画（概要版）

【令和4年11月策定】

1 計画策定の目的

- 令和元年度に策定した「魚津市財政健全化計画（R2～R6）」に基づき行財政改革を進めてきた結果、目標を2年前倒しで達成
- 一方で、新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中、少子高齢化や人口減少により市税収入が落ち込み、社会保障費が増加見込
- 本庁舎をはじめとする公共施設の老朽化が進んでいることから、今後その建て替えなどに多額の費用が必要



計画的な行財政運営に向けて「魚津市中期財政計画」を策定

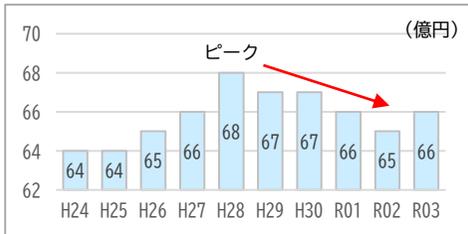
2 基本的な考え方

- ①計画期間
令和5年度～令和9年度（5年間）
- ②計画の見直し
今後の財政状況や新たな行政需要などを考慮し、毎年度見直し
- ③会計の単位
財政見通しの会計単位は「一般会計」

3 魚津市の財政状況

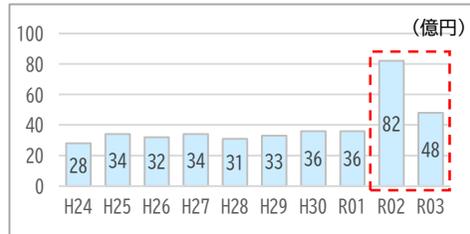
①市税の推移

H28をピークに減少傾向



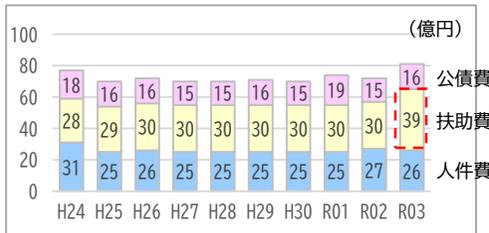
②国・県支出金の推移

コロナ対策のためR2・R3増加



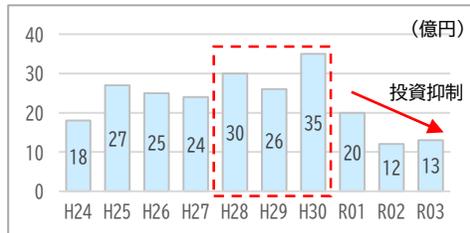
③義務的経費の推移

コロナ対策のため扶助費がR3増加



④投資的経費の推移

統合小建設のためH28～H30増加

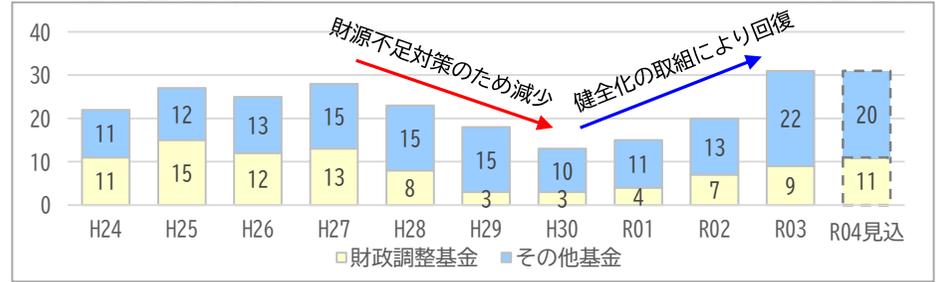


4 基金の状況 (H24～R4見込)

- 平成28年度以降、財源不足を補填するため基金残高は急激に減少
- 令和2年度以降、行財政改革に取り組んだ結果、基金残高は回復

<年度末基金残高の推移>

(単位：億円)



5 財政収支見通し (R5～R9)

- 義務的経費は、公債費が中期的に減少していくものの、社会保障費の伸びに伴い増加傾向
- 投資的経費は、温水プールの整備 (R5・R6) や新庁舎の建替え (R9～R11) などにより増加見込

<一般会計 歳入・歳出の財政見通し>

(単位：百万円)

	R04当初	R05見込	R06見込	R07見込	R08見込	R09見込
歳入						
市税	6,576	6,529	6,388	6,336	6,287	6,152
地方交付税	3,350	3,270	3,360	3,390	3,420	3,500
その他収入	8,599	8,781	9,024	8,702	9,178	10,026
歳入合計①	18,525	18,580	18,772	18,428	18,885	19,678
歳出						
義務的経費	7,647	7,763	7,609	7,649	7,651	7,789
投資的経費	2,037	2,242	2,559	2,124	2,746	3,401
その他経費	8,841	8,701	8,676	8,747	8,525	8,582
歳出合計②	18,525	18,706	18,844	18,520	18,922	19,772
差額 (①-②)	0	△126	△72	△92	△37	△94

6 計画的な行財政運営に向けて (今後の取組)

- 毎年の財源不足は、事務事業の見直しなど継続的な行財政改革の取組や国の補正予算、ふるさと寄附といった財源を確保することで解消
- 財政調整基金は、安定的な行財政運営に向けて適正な残高を確保
- 公共施設整備基金は、令和5年度以降、毎年2億円以上を積み立て、本格化する新庁舎整備に備え令和8年度末までに残高20億円以上確保
- 減債基金は、令和9年度以降、剰余金を活用しながらできるだけ積立
- 公共施設の整備スケジュールを示し、毎年度見直しを行いながら計画的に整備